

製品名: JAM-B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12827**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	JAM2
別名	JAM2; C21orf43; VEJAM; Junctional adhesion molecule B; JAM-B; Junctional adhesion molecule 2; JAM-2; Vascular endothelial junction-associated molecule; VE-JAM; CD322
遺伝子 ID	58494.0
SwissProt ID	P57087
免疫原	ヒト JAM-B の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

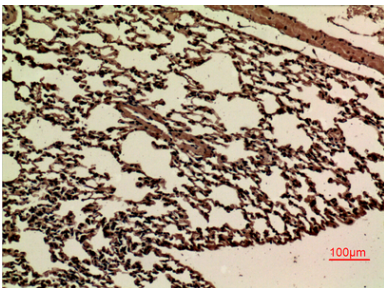
この遺伝子は免疫グロブリンスーパーファミリーおよびジャンクション接着分子 (JAM) ファミリーに属します。この遺伝子によっ

てコードされるタンパク質はI型膜タンパク質であり、上皮細胞と内皮細胞の両方のタイトジャンクションに局在します。様々な免疫細胞種と相互作用する接着リガンドとして機能し、リンパ球の二次リンパ器官へのホーミングに関与している可能性があります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2012年7月],機能: リンパ球が二次リンパ器官へホーミングする過程において役割を果たす可能性がある。 ,類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。 ,類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。 ,細胞内局在: 上皮細胞と内皮細胞の両方のタイトジャンクションに局在する。 ,サブユニット: JAM3 と相互作用する。 ,組織特異性: 心臓、胎盤、肺、包皮、リンパ節で最も高い発現を示す。高内皮細静脈に顕著に発現し、他の血管の内皮にも存在する。高内皮細胞の細胞間境界に局在する。 ,

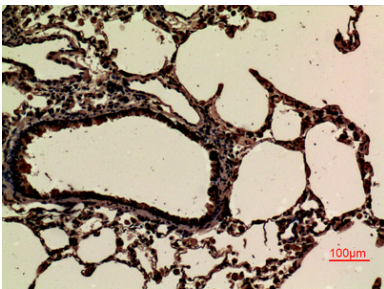
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

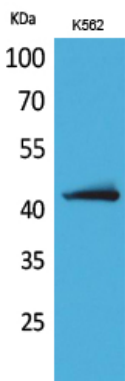
画像データ



パラフィン包埋マウス肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



JAM-B ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。